

職員オススメ本 7月

「旅する世界史 人生を彩る教養が身につく」

佐藤 幸夫／著 KADOKAWA



「もう少し勉強していればワクワクしてガイドの話も聞けたのになあ」

本書は、そのような声に応えるために、予備校の世界史講師である著者が、世界102カ国、世界遺産300カ所以上を訪れた経験をもとに、世界の絶景や建造物について紹介した1冊です。「世界史のターニングポイントをめぐる旅」「絶景からダイナミックな歴史を感じる旅」「知的好奇心をくすぐるワンランク上の旅」の3部構成となっており、有名な観光地や建造物がどのような背景で生まれ、どのような歴史を辿ってきたのかが簡潔に紹介されています。

歴史の雑学が身につくと共に、旅に行きたくなる一冊です。

「かける手間が半分に 困りごと解決！家事ワザ262」

かおり／著 KADOKAWA



元理科教員の経歴を活かし、洗剤の性質を調べた上でどのように使ったら汚れが落ちるかを比較検証している本書。

浴室小物は浴室用の洗剤ではなく重曹と食器用洗剤を使用し、さらに温めることで効果がアップし汚れが落ちるなど驚きの掃除法が紹介されています。

登場する洗剤や掃除道具は百元ショップやホームセンターで購入できるものばかりです。

分かりやすい手順をカラー写真で紹介しており、日頃のお掃除の悩みを解決してくれる役立つ一冊です。

「夜空に浮かぶ欠けた月たち」

窪 美澄／著 KADOKAWA



東京で一人暮らしをしている大学生の篠原滯。この頃、眠れず、体がひどくだるく、頭が重い。自分の体のどこがおかしいと思うのだけれど、熱があるわけでも、腹痛があるわけでもなかった。ある日、最近ひどく痩せ、目の下にくまができて滯を心配して、バイト先の店主が病院に行くことをすすめ、予約してくれるのであった。

本書は、町の片隅にある「心療内科 椎木メンタルクリニック」を訪れる人々の悩みに医師と臨床心理士が寄り添う連作短編小説です。